

旭川都心地区（２期）都市再生整備計画事業 評価懇談会 結果

○日時：令和元年 11 月 20 日（2019/11/20） 15:00～16:55

○参加者紹介

- ・ 4 名の委員を紹介

○進行役選出

- ・ 大野委員を選出

○議事

- ・ 議事 1：資料 3，資料 4 に基づいて事務局から説明
- ・ 議事 2：資料 5，資料 6，資料 9 に基づいて事務局から説明
- ・ 議事 3：資料 7，資料 8 に基づいて事務局から説明

○委員からの意見

- ・ 議事 2「旭川都心地区（２期）」まちづくりの経緯について

（委員）総合子ども教育センター（旭川市子ども総合相談センター）について、このような施設があることをもっと市民に周知する必要がある。現状では「おびった」の方が市民に認知されており、子どもの発達等で相談があった場合、そちらを訪れるのではないかと思う。市民への周知に当たっては、ホームページでは知りたい情報を探さなければならず、特に高齢者には難しいので、市民が多く訪れる CoCoDe 等にパンフレットを置くなどして周知徹底を図る必要がある。

（委員）総合子ども教育センターのパンフレットを見た際、悩みを持っている人しか行けない印象を受けた。一般の方も利用できるスペースがあるのであれば、小さなお子さんをお持ちのお母さんは、集まって一緒に子どもを遊ばせられる場所を探していると思う。特に冬期間は遊ばせる場所がないと思う。駐車場も 15 台設置されているとのことだが、もっとあった方が良いのかなと思った。

（事務局）総合子ども教育センターの相談件数は増えており、相談する場所としては周知が図られてきていると思う。一般の方も利用できるのもっと色々な人に利用してもらえば、相談に訪れやすい施設になると思う。

（委員）総合子ども教育センターがあること、ワンストップで相談が可能であることは知っていたが、一般の方でも利用できることは知らなかった。子育て世代の人しか行かない施設

だと思っていたが、一般の方でも利用できるとのことなので、もっと周知を強化した方がよい。

（委員）総合子ども教育センターは、子どもが訪れる施設としては、施設内が殺風景かと感じた。今後も活用されるように施設内インテリアの工夫や周知を続けていくことが必要である。

（委員）常磐公園整備で築堤の緩傾斜化、階段の整備が行われたことから、特に、花火大会終了後、これまで一方にしか出口がなく混雑していたが、本事業により整備された階段を利用し、常磐公園を通して観客が帰路につくことから、混雑の解消が図られ、安全管理に繋がっている。

（委員）道の駅整備事業で Wi-Fi 環境の整備を行っているが、Wi-Fi は道の駅全体を網羅しているのか。

（事務局）フードコートエリアを中心に環境整備が図られている。

（委員）宮前公園については、個人的にも利用しており、大変素晴らしい環境だと思う。

（委員）買物公園でのオープンカフェ事業については、警察からの指導もあり、人が集まる夏祭りに設置できないのが残念である。座らせてあげられればとても良い街だと思う。平日はサラリーマンや OL の方がお弁当を広げて利用されている。

（委員）賑わいづくり事業としてイベントを行っても、その時だけしかお客さんが来ない。イベントをやった方が良いと言う声もあるが、なかなか売り上げに結び付かないので難しいところ。

（委員）駅周辺をはじめとする公園は、本当に見事に良い場所に育ったと感じる。駅前広場も含め、魅力的な市街地になってきていると思うので、今後、うまく周辺に繋がっていくと良い。

（委員）常磐公園の植生等の調査を行ったが、公園だけではなく公共投資を行った街路樹を含めて、いずれ来る更新等に向けた緑の更新計画を作成した方が良い。

（委員）オープンカフェについても、地先店舗へ誘導するような工夫が必要。気持ちのいい日陰があり、それぞれの店が特徴を出して、お茶を飲めるような場所を作ることが、この街

でできていければ良いと思う。

(委員) シビックコア広場整備により通路が繋がったのは、夏に向けて楽しみ。少なくとも夜には街路灯の明かりが並んでいる景色が見られるかもしれない。

(委員) 宮下・1条間のロードヒーティング整備は、買物公園から昭和通まで整備されることでよいか。

(事務局) 買物公園から昭和通までの整備である。

(委員) ロードヒーティングは、他の仲通、例えばさんろく街の方が通行量が多く整備効果が高いのではないか。

(事務局) 当初、本計画で3条通線整備、2・3条間仲通線整備を予定していたが、空き店舗の問題があり、地先に提出していただく維持管理費の調整等が整わなかったため、計画から削除となっている。

(委員) 案内板は見る機会が多く、分かりやすいと思う。銀座通周辺にも設置されており、知らない人は案内板があることにより訪れやすいと思う。

あちらこちらに設置されているので、街を知らない人は、案内板を見ながら歩くのは楽しいのではないか。

(委員) キャノピーは皆さん利用されていると思う。

(委員) キャノピー整備は、賛否が分かれていることは承知しているが、1条通から旭川駅前まで利用することが多く、雨天時には便利である。

(委員) 共通利用駐車場推進事業については、リパークやイオンが加盟してくれたこともあり、数年前から利用数が大幅に伸びている。

(委員) 共通利用駐車場推進事業について、あまり周知が行き届いていない感じがある。

・議事3事後評価について

(委員) 銀座商店街でも年に1度、通行量調査を実施しているが、今まで来ていたお客さんが来なくなったりで、通行量はかなり減少してきている。近隣でマンション建設等もされているが、来客には繋がっていない。

(委員) 買物公園の通行量は減っているが、イオンモール前では増加しているとのことか。

(事務局) イオンモール前の通行量は、平成29年度が8,150人で今年度が9,045人。買物公園の平成29年度は102,585人、今年度は108,160人で平成29年度に比べるといずれも増加している。

平成26年度の通行量に比べると、今年度の通行量は少ないが、ここ数年は横ばいとなっている。

(委員) 旭川中心市街地活性化協議会企画推進分科会だが、一生懸命頑張ってやっているが、フェイスブックの登録数等も少なく、もったいないと感じる。

(委員) 買物公園通行量については、観光客の町歩きが目立つ感じがする。特に東南アジアの方々。昔は夜間人口などとも言われていたが、これだけホテルが増えると滞在人口も含めたような人が夜間に中心部にいるという現実がある。居住人口の指標だけでは見えづらくなっている。滞在時間も大事だと思うし、今後は何か違う指標も考えられる。

(委員) 夜にイオンに買物に行った方の話では、外国人観光客が惣菜を購入しており、ホテルに帰って食べているのではないかと言っていた。そういう方が増えているのかと思った。

(委員) 買物公園通行量調査は、旭川市中心市街地活性化協議会が実施しており、事務局として調査に加わった。7条で調査を行ったが、近隣にはホテルが多いこともあり、昼と夕方外国人観光客が多く見受けられた。

(委員) 市民文化会館の改修やキャノピー整備を取りやめたことについて、取りやめたことは仕方ないが、都市再生の計画として実施しようとした事業であり、今後の都市再生・創生に寄与するものとして、改修や全体の施設配置を含め、事業展開を検討していくべき。

(委員) 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理について、買物公園通行量については、目標値に達しなかったが、平成26年度に比べて大きく減少したのではなく、旭川市民文化会館利用者数についても目標値に1,100人程度満たなかっただけであり、「数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる」との市の所見は妥当と思う。

(委員) 今後のまちづくり方策の想定される事業について、中心市街地出店促進事業があり、事業内容としては、商店街で新たに出店する方に一定期間の家賃補助をしてもらっている。

この促進事業を利用し出店する方はいるが、補助がなくなった時点で商店街振興組合から抜けてしまう。他の場所に行ってしまう。また、致し方ないことだが廃業する方もおり、継続的な事業展開に結び付いていない。

（委員）中心市街地活性化協議会企画推進分科会も頑張っているが、皆さん仕事を持ちながら活動しているので、イベント等を開催する際には、市からも人的な援助をお願いしたい。

（委員）事後評価の内容については、目標値に達しなかったものについてはフォローアップも記載され、整理されていると思う。

（委員）再生するということは、何か問題があったから、それを直すということだが、今の時代は創生。これまで実施してきた事業で良くなった点はある。もう少し手を加えれば更に魅力ある街になる。旭川は魅力ある街になってきている。市には、今後も、街全体を考えて取り組んでいただきたい。

（委員）その他意見等はあるか。

（各委員）意見等なし。